

〇〇〇聞こえのチェック〇〇〇



聴力の低下は年齢を重ねると、誰にでも起こるものです。聴力は徐々に低下していくので、本人には自覚しにくいという特徴があります。

難聴は認知機能低下の危険因子とも言われています。「聞こえにくさ」があれば早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう！

チェックポイント	推定聴力レベル 考えられる状況
<input type="checkbox"/> 会話をしているとき、聞き返すことが多くなった <input type="checkbox"/> ささやき声が聞き取りにくい	軽度難聴の兆候 (25-40dB) 聞き間違いや生返事による誤解、地域活動や仕事上の支障が起こる可能性があります。
<input type="checkbox"/> 後方の会話に気づかない <input type="checkbox"/> テレビの音が大きすぎると指摘される <input type="checkbox"/> 会話を正確に聞き取れないのに、相づちを打つことがたびたびある	中度難聴の兆候 (40-70dB) コミュニケーションが取りにくくなり、家族や周囲の人との関係に影響する場合があります。
<input type="checkbox"/> 電話の音が聞き取りにくいことがある <input type="checkbox"/> 銀行、病院などで名前を呼ばれても聞き逃すことがある <input type="checkbox"/> 非常に大きな声での会話のみ聞き取れる	高度難聴の兆候 (70-90dB) コミュニケーションが疎かになり、日常生活にかなりの困難が生じている可能性があります。
<input type="checkbox"/> 大きな声で正面から話されても、聞き取れないことがよくある <input type="checkbox"/> 電話の着信音が聞き取れない	重度難聴の兆候 (90dB 以上) 電話の着信音や車のクラクションが聞き取れなくなり、自分や周囲の人に危険が及ぶ恐れがあります。

問い合わせ・相談先

幕別町保健福祉部保健課高齢者支援係

電話 0155-54-3812

